【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】令和6年2月8日(2024.2.8)

【国際公開番号】WO2023/276317
【出願番号】特願2023-531420(P2023-531420)
【国際特許分類】
*Ａ６１Ｂ　5/20(2006.01)*
*Ｇ０１Ｇ 19/44(2006.01)*
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　5/20
Ｇ０１Ｇ 19/44　　Ｄ

【手続補正書】
【提出日】令和5年11月2日(2023.11.2)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
音声指示部と、該音声指示部を制御する第１制御部とを有する被検者用端末と、
前記被検者用端末と無線通信可能に構成され、体重測定部と、該体重測定部に体重測定工程を実行させる第２制御部とを有する排尿量計測計と、
排尿前および排尿後の２回の前記体重測定工程である排尿前体重測定工程および排尿後体重測定工程のそれぞれで得られた体重測定値から排尿量を算出する演算装置と
を具備する排尿量測定システムにおいて、
前記排尿量計測計は、前記排尿前体重測定工程および前記排尿後体重測定工程に含まれる各測定段階が完了したとき、および前記排尿前体重測定工程が終了したときに、前記被検者用端末の第１制御部にトリガ信号を送信し、
前記第１制御部が、前記トリガ信号を受信すると、該トリガ信号に対応する動作を指示する内容の音声指示メッセージを前記音声指示部から出力させ、前記排尿前体重測定工程が終了したときは、前記音声指示メッセージを前記音声指示部から出力させた後、前記排尿後体重測定工程の開始の指示を受け付ける、排尿量管理システム。
【請求項２】
前記被検者用端末が、さらに表示部を有しており、
前記第１制御部が、前記音声指示メッセージと対応する指示画面を、前記音声指示部と連動して前記表示部に表示させる、請求項１に記載の排尿量管理システム。
【請求項３】
前記指示画面は、前記音声指示メッセージの内容を示す文字列および／または画像である、請求項２に記載の排尿量管理システム。
【請求項４】
前記第１制御部が、前記排尿量計測計からの前記トリガ信号を受信してから所定の時間が経過したときに、前記音声指示メッセージを前記音声指示部から出力させる、請求項１に記載の排尿量管理システム。
【請求項５】
前記第１制御部が、前記排尿前体重測定工程が終了したときに前記排尿量計測計から送信されてくる前記トリガ信号を受信してから所定の時間が経過したときに、前記排尿後体重測定工程の実行を促す音声指示メッセージを前記音声指示部から出力させる、請求項１

に記載の排尿量管理システム。
【請求項６】
前記体重測定部が、スリープ状態と、該スリープ状態よりも消費電力が高い測定状態との間で遷移可能に構成されており、
前記第２制御部が、前記被検者用端末からの起動要求信号を受信すると、前記体重測定部を前記スリープ状態から前記測定可能状態に遷移させ、前記体重測定部が前記測定可能状態への遷移が終了した後、前記排尿量計測計から前記被検者用端末に対して前記トリガ信号が送信される、請求項１に記載の排尿量管理システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明が解決しようとする課題は、排尿前後の被検者の体重を測定した結果から前記被検者の排尿量を求める排尿量管理システムにおいて、被検者の利便性を向上させることである。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記課題を解決するために成された本発明に係る排尿量管理システムは、
音声指示部と、該音声指示部を制御する第１制御部とを有する被検者用端末と、
前記被検者用端末と無線通信可能に構成され、体重測定部と、該体重測定部に体重測定工程を実行させる第２制御部とを有する排尿量計測計と、
２回の前記体重測定工程のそれぞれで得られた体重測定値から排尿量を算出する演算装置と
を具備する排尿量測定システムにおいて、
前記排尿量計測計は、前記２回の体重測定工程に含まれる各測定段階が完了したときに、前記被検者用端末の第１制御部にトリガ信号を送信し、
前記第１制御部が、前記トリガ信号を受信すると、該トリガ信号に対応する動作を指示する内容の音声指示メッセージを前記音声指示部から出力させるものである。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２８】
測定装置１００との間で通信が確立したと判断された場合は、ＣＰＵ２７０は、測定装置１００に対してコマンドＣ１を送信する。コマンド「Ｃ１」を受信した測定装置１００のＣＰＵ１７０は、コマンドＡ１をユーザ端末２００に返送する。ユーザ端末２００のＣＰＵ２７０は、コマンドＡ１を受信したことに基づき、表示部２１０に、ユーザが次に行うべき動作を指示する画面（動作指示画面）を表示する（図３（２））。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００４３
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００４３】
ユーザ端末２００がスリープ状態になってから所定の時間が経過すると、ＣＰＵ２７０は、表示部２１０の画面に、排尿後の体重測定用の初期画面を表示させる（図３（６））。この初期画面には、排尿後の体重測定処理の開始の意思を確認するためのＧＵＩボタン２１２が表示される。このＧＵＩボタン２１２は、矩形状の枠とその中に表示された「排尿後の測定にすすむ」の文字から成る。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００５５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００５５】
（第１項）
第１項の排尿量管理システムは、
音声指示部と、該音声指示部を制御する第１制御部とを有する被検者用端末と、
前記被検者用端末と無線通信可能に構成され、体重測定部と、該体重測定部に体重測定工程を実行させる第２制御部とを有する排尿量計測計と、
２回の前記体重測定工程のそれぞれで得られた体重測定値から排尿量を算出する演算装置と
を具備する排尿量測定システムにおいて、
前記排尿量計測計は、前記２回の体重測定工程に含まれる各測定段階が完了したときに、前記被検者用端末の第１制御部にトリガ信号を送信し、
前記第１制御部が、前記トリガ信号を受信すると、該トリガ信号に対応する動作を指示する内容の音声指示メッセージを前記音声指示部から出力させるものである。